

WEEKLY REPORT

SAGA YAMATO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2740地区 第1グループ

第1041回例会

2015～2016 年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

RI 会長

K. R. ラビンドラン(COLOMBO RC)

第2740地区ガバナー

宮崎清彰(諫早北 RC)

プログラム

2016年3月22日(火)

- ① 開会点鐘
- ② 開会の辞
- ③ ロータリーソング
「奉仕の理想」
- ④ 四つのテスト
- ⑤ 来訪者紹介
- ⑥ 会長の時間
会 食
- ⑦ 幹事報告
- ⑧ 委員会報告
- ⑨ 外部卓話
さが水ものがたり館 事務局長
服部二郎 様
- ⑩ 出席報告、ニコニコ BOX 報告
- ⑪ 閉会点鐘

MEMO

(※第1040例会 IM 3/5)

※次回例会

3月29日(火) 12:30～

龍登園

創 立 1994/2/22
 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
 会場 ホテル龍登園 0952-62-3111
 第4火曜日 18:30～19:30
 会場 炭火焼丸美屋 0952-20-7770

会 長 古藤俊隆 幹 事 古賀くみ子
 会報委員 於保静枝 福島隆暢
 事 務 局 佐賀市大和町大字東山田 1857-13
 TEL・FAX 0952-37-9180
 E-mail yrc2740@gmail.com

会長の時間

古藤会長

今日は、新聞の書評から、現在の日本経済の実態を良く書き表しているなと思いましたので、その記事を紹介したいと思います。日経新聞の、「経営書を読む」というコーナーの、富山和彦「会社は頭から腐る」という、本の解説です。

日本では終身雇用、年功序列といった仕組みが高度成長期と非常にうまくマッチし、無用な軋轢を排除して安心感を持って仕事ができるという、極めて安定した階層構造が出来上がりました。その後、高度成長期が終わり低成長時代を迎える中で、高齢化が急速に進展するなどの変化が起こります。これだけシステム的前提が変わってしまったら、システムもそのままでは機能しないのは自明ですが、過剰適応されたシステムだけに変更がままならなかったのが、「失われた20年」の苦境の原因でした。良い学校に入ってよい会社に就職すれば一生安泰でいられると信じたのは、残念ながら、多くの場合幻想にすぎなかったのですが、実際に中にいる人が、その幻想を自ら打ち破ることは大変なことです。むしろ、せっかく獲得した地位を何とか守って「また日本経済が良くなれば、以前のようにうまくいくはずだ」とどこかで期待して、待ち」の状態になってしまう方が自然ではないでしょうか。このことが、日本企業の不祥事の遠因になっていると、富山氏は言います。アングロサクソンの「利害社会」に対し、日本は「ムラ社会」です。ムラ社会では構成員のインセンティブは共同社会の現状維持にあり、変革をせず、現実を見なくなります。構成員の必死の頑張りとは、正しくない方に事態を進めてしまうことがあるのです。

過去に大成功した「高度成長期の日本モデル」では、新しいことに挑戦するインセンティブが、弱くなります。より成功して上位にいる人ほど、何かを変えるインセンティブは乏しくなってしまう。結果として日本企業がリスクを冒して利益を上げたり、成長したりする事が出来てこなかったのです。

行事予定

月日	行事	会場
3月29日(火)	1042回(昼)例会	龍登園
4月05日(火)	1043回(昼)例会	巨石パーク
4月12日(火)	1044回(昼)例会	未定
4月19日(火)	1045回(昼)例会	龍登園
4月26日(火)	1046回(夜)例会	旭屋(鍋島)

幹事報告

1. ライラ
5月21~22日(土、日) 12:00~
日吉青年の家(長崎市)
2. 地区協議会(会長、幹事、5大奉仕委員長)
4月24日(日)13:30~
ANAクラウンプラザホテル長崎

出席報告

2月23日/マークアップなし	25名中16名(免除1名)	66.66%
3月01日/マークアップなし	25名中18名(免除0名)	72.00%
3月05日/マークアップなし	25名中15名(免除0名)	60.00%

I M (Intercity Meeting)

3月5日(土) 15:30~ マリトピア



10RC 登録者数 222名

ペッツ

(会長エレクト、次期幹事研修セミナー)

3月13日(日)13:30~ ホテルニュー長崎

参加者 堤 次期ガバナー補佐
浦川次期会長
松永次期幹事



第1グループ・堤ガバナー補佐 所信表明